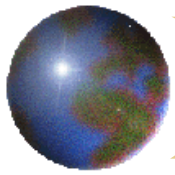


難民に関するワークショップ から難民問題・子どもの権利・ 衣食住を考える

国連UNHCR協会開発教材の実践



今日の授業について

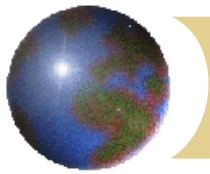
この1年間、皆さんは各単元で、

自分の将来や子ども・高齢者について学んだり、衣食住について考えてきました。

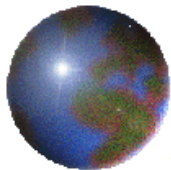
今日は、あるワークショップを通して、

これまで学んできたことについて、単元の枠を越えて、もう一度考えてほしいと思います。

そして、今日また1つ、新たな事実を知ってほしいと思います。



それでは、
次のポスターを
見てください。



これは、国連UNHCR協会のポスターです。

難民とは、宗教や人種といった理由の迫害や紛争によって故郷(国や地域)を追われた人々のことです。難民の人々は、衣食住や人権が祖国に保障されません。また、避難先には自分たちの力で移動します。

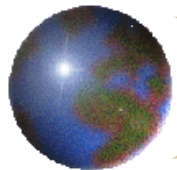


**すべての難民が
難民でなくなるその日まで**

紛争や迫害で、ある日突然故郷を追われた人たち。
彼らの避難生活は、十数年に及ぶこともあります。
先の見えない不安の中で、日々を懸命に生きています。
UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は、
彼らが安心して暮らせる日まで寄り添い続けます。



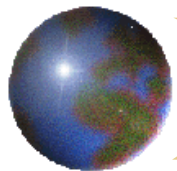
**難民になるってどういうこと
でしょうか？**これから皆さん
に、難民の人々が経験した
(している)ことを疑似体験し
てもらいます。



ワークショップ①

「いのちの持ち物けんさ」

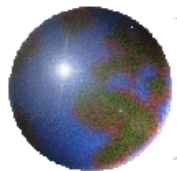
(ワークシート① 20分)



ワークショップ①

まず、黒色のボールペンまたはシャープペンで、赤色の付箋に「いのち」と書いて、赤色の枠に貼りましょう。

次に、あなたの持ち物や大切な人・目に見えないもの（特徴や資格など）を、各色の付箋に書いて貼っていきましょう。（7分）

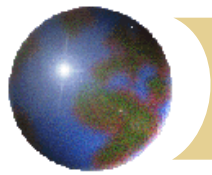


ワークショップ①

赤⇒ お金では買えないもの・代わり
のないもの (例: 家族、ペット)

黄⇒ あなたのアイデンティティ (自分
らしさ) を構成する要素
(例: 学生であること、日本人)

青⇒ お金で買えるもの・代わりのある
もの (例: 食べ物、スマホ、洋服)



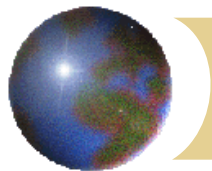
ワークショップ①

今、皆さんはたくさんの物や人で満たされているでしょう。

それでは、次のアクションに移ります。

青色の付箋だけをはがし、裏に貼っていきましょう。

あなたはそれらを失ったのです。
失ったときの気持ちを想像してみ
て、枠内に書きましょう。(2分)

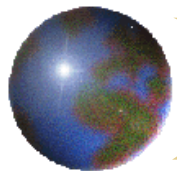


ワークショップ①

次は、黄色の付箋だけをはがし、裏に貼っていきましょう。

あなたはそれらを失ったのです。失ったときの気持ちを想像して、枠内に書いてみましょう。

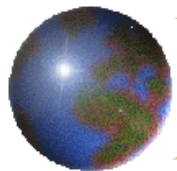
(2分)



ワークショップ①

難民の人々は家族や友人を失うことも多いです。最後に、「いのち」以外の赤色の付箋をはがし、裏に貼っていきましょう。

あなたはそれらを失ったのです。失ったときの気持ちを想像して、枠内に書いてみましょう。(2分)

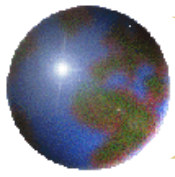


ワークショップ①

では、3色のものや人を失った気持ち
を班員で共有しましょう。

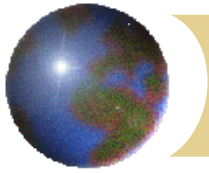
(2分)

※辛くなっても学習を続けるのが
難しくなった場合は、決して
無理をせず申し出てください。

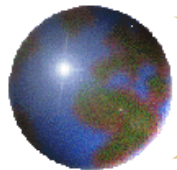


ワークショップ①

クラス内共有 (4分)



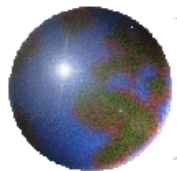
休み時間 (10分)



ワークショップ②

「その持ち物を守るために」

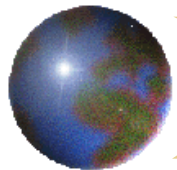
(ワークシート② 25分)



ワークショップ②

自分たちの気持ちを踏まえつつ、
これまで学んだ「リプロダクティブヘルス／ラ
イツ、子どもの権利条約、食生活の機能、衣
生活の機能、住生活の機能、消費者の一票」
の内容を思い出しながら、
失いたくないものや必要なものを話し合い、
ワークシート①からはがしてワークシート②に
貼りましょう。

ただし、班で各色3枚ずつまでです。(5分)

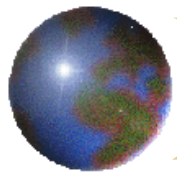


ワークショップ②

次に、

なぜその9枚を失いたくないのか、
必要なのか、

緑色の付箋に理由を黒色で書き、
その付箋の近くにひたすら貼って
いきましょう。(3分)

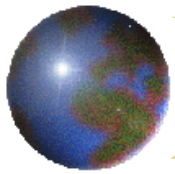


ワークショップ②

では、

それらを失わないようにしたり、取り戻したり新たに得たりするためには、どのような支援が必要かを考えていきましょう。赤ペンで付箋に書いてどんどん貼っていきます。その際、

- ①国や国連・社会ができること(赤色の付箋)
 - ②私たちが今できること(黄色)
 - ③私たちが社会人になったらできること(青色)
- の3つの視点に分けて考えましょう。(10分)



ワークショップ②

①赤色の付箋

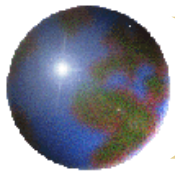
⇒国や国連・社会ができること

②黄色の付箋

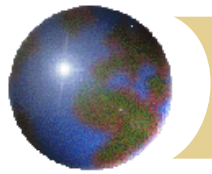
⇒私たち(高校～大学生)が今できること

③青色の付箋

⇒私たちが社会人になったらできること



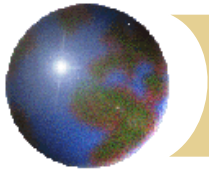
クラス内共有 (5分)



最後に…

ワークシート②が付箋でいっぱいになりましたか？それが今日の皆さんの学びの成果であり、これまでの学習の振り返りでもあります。

最後に、難民の人たちだからこそ持っていて、私たちが持っていないものはないか、考えて見ましょう。班の皆でどんどん余白に書いていきましょう。（2分）



まとめ

(5分)